

平成 30 年度第 2 回富津市民委員会 グループ 2 討議結果（要旨）

1 開催日時等

開催日時	平成 31 年 2 月 17 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時 45 分
場 所	富津市役所本庁舎 5 階 502 会議室
討議事項	富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標 4
出席者	富津市民委員会委員 8 名（コーディネーター）鳥飼尚 （事務局）田内企画係長、坂本主事
傍聴人	8 人

2 討議事項

総合戦略の基本目標 4（市の産業、仕事を創る）に記載している次の事項について、討議を実施。

- (1) 基本的な施策の方向
- (2) 課題
- (3) 地域・民間ができること
- (4) 市民ができること
- (5) 数値目標

3 討議内容（要旨）

(1) 基本的な施策の方向① 雇用の創出

基本的な施策の方向、課題（市への意見を含む）	
雇用の受け皿	<ul style="list-style-type: none"> ・富津は、仕事が少ないというか、大きな企業が少ないと感じる。 ・企業側が会社を作るにあたっては、周辺に働き手がいるか、交通の便が良いか、流通コストがどれくらいかかるかを考えると思う。その点で富津市に魅力があるかという点、全てを満たすことは難しいと思う。 ・仮にお金を出して企業を誘致しても、法人税収入は増えると思うが、工場の機械化が進んでいるため、雇用が生まれるかどうかはわからない。安い土地があり、奨励金も出すから来てほしいという誘致の方法は、今の時代では難しい。 ・介護施設で働いているが、現状でさえ人が足りない。女性の働く場でもあるが、求人を出しても人が集まらない。 ・今は外国人を受け入れていく時代だと思う。 ・若い人たちはショッピングモールなどのキラビやかな場所ができると、そちらで就職したがる傾向がある。 ・雇用の受け皿が実際にはあるという意見を伺って、募集していることを広く PR できる場があれば良いと感じた。 ・産業によって雇用状況に差が出ているのではないかと感じる。

<p>女性が働ける場の不足</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が働く場合、子育てや親の介護問題があって働けない方もいると思う。その人たちの環境をどうにかしないとますます働けないと思う。雇用が少ない状況で更にこのような自分の事情を受け入れてくれるところまでを求めると、女性はますます働けない。 ・引っ越してきて働く場所を探したところ、そもそも富津は人口が少なく企業が少なさからしょうがないが、女性の働く場所はゴルフのキャディやレジ打ちのようにとっても限定されていると思う。人口を増やさないと企業自体も増えないと思う。 ・私の地元は観光地なので働く場所はあるが、土日でも子供を預かってくれる場所が無く、幼稚園でも熱が出ると預かってくれないため、小さい子供のいる母親は働きにくい。
<p>企業誘致奨励金</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致奨励金の対象企業は地元の人を優先的に雇用しているのか。せつかく企業が来るのであれば、地元雇用の場として広がっていけば良いと思う。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選ばなければ仕事はある。若い世代に、一生懸命がつがつと働きたい人はあまりいないのではないか。きつい仕事は嫌、楽をして動画を撮るなどにより収入を得られればそれで良いと思っているのではないか。 ・女性に限ったことではないが、特に女性を必要とするような病院や介護施設の企業と市が一緒になって周知以外の事も含め知恵を出し、雇用の確保に取り組むことが必要ではないか。 ・訪問介護も働く人が少なく、高齢者の方が多い状況である。 ・工芸職人に対して市独自に技能賞を設けるなどすれば、技能向上のモチベーションが違ってくるのではないか。
<p>地域・民間ができること</p>	
<p>育児と仕事の両立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出産した人、未就学児のいる人を対象に時短勤務の制度があるが、制度を利用しない側の人はその分負担を強いられるため、利用しない人にメリットを与えることを考えると良いと思う。 ・働いている間、子供たちを預かってもらうのは民間企業では難しく、地域で考えなければいけない問題なのかなと思う。
<p>市民ができること</p>	
<p>該当意見無し</p>	
<p>その他（体験談等）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・私は農業をやっているが、農業分野の雇用確保については難しい状況にある。しかし農業というのはあくまで人の食べるものを作るので、持続できるシステムを作ることが重要であり、それを理解して働く人が増えることを願っている。 ・私は介護の仕事をしているが、想像と実際に携わることには差があって長続きしないのではないかなと思う。仕事の休みの調整や、人間関係に悩んでいる方が多いと感じる。 ・雇用の創出について、地域、民間、行政が一緒になって取り組む方が良い。 ・行政の入札制度について、仕事を受ける会社に偏りがあるのではないかなと思う。仕事をもらえない企業にも利益が行き渡れば良いと思う。 ・職に応じた能力や知識を身につけることについて、資格を取れば時給が上がる制度を設けても、従業員それぞれの価値観があるので、上を目指す人もいれば自分 	

はこれで良いと思う人もいます。

(2) 基本的な施策の方向② 地場産業の振興

基本的な施策の方向、課題（市への意見含む）	
特産物販売所	<ul style="list-style-type: none"> ・私はJAの直売所等に農作物を販売しているが、富津市にはそういった施設が無い。 ・道の駅などがあれば観光など、人は集まると思う。 ・金谷の「ザ・フィッシュ」の駐車場では地元の方が農作物を販売している。ゴルフ目的で来た方が帰りに買っているようだ。狭い場所で販売しているようなので、規模を拡大できれば良いと思う。 ・上総湊のJAで地元の農家が水曜と土曜に朝市を実施している。地元の方は知っているが、PRして効果を試しても良いと思う。 ・今の時代はネット等で拡散しなければPRは難しい。 ・消費者とふれあう場を設けることによって、農業に興味を持つ人も増えるかもしれない。
農地の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・私は農家ではないが農地を持っている。土地改良賦課金は農地を使わなくてもかかる費用なので、負担してもらえたら是非農地を使ってもらいたい。農地を売るときは償還金を一括納入する必要があり、売ることができずに賦課金を払い続けていると聞く。 ・耕作放棄地を農業大学等に広報して使ってもらうのはどうか。
漁業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・東京湾での漁業は、対岸の神奈川や東京で埋立等があると潮の流れが変わり、魚が獲れなくなることがあると聞いている。民間企業や富津市だけではどうしようもなく、隣接した都道府県を巻き込んで問題提起しなければ回復しないのではないかと。 ・金谷は漁師のまちだが、高齢者が多く跡継ぎがいないことが深刻な問題になっている。子供たちが漁師を継がないため廃業や釣り船に転業する方が増えている。地元では「ななせのアジ」が有名なアジ1種類だけでは存続は難しい。 ・結婚していない漁師が多く、子供も減っている。
農業体験	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を田植えや刈入れ等の農作業に携わらせたい親が多いと聞いている。 ・小学校では地元の方の協力により田植えなどの農業体験を行っているところもある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学の学生が相川地区で実践的な体験を行っているという話を聞いた。市でも広報に力を入れてはどうか。 ・天羽地区は小学校の合併が決まっており、若い人が来ないと思う。 ・人口が少ないことを逆手にとって、無人運転や介護ロボットのモデル都市に名乗りを上げてはどうか。試験に携わる人が外から来てくれるほか、交通や農業、介護等に活用できると思う。
地域・民間ができること	
空き校舎の利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・空き校舎を利用して、地元の方が講師になり、海苔づくりや炭づくり等の技術を勉強できる専門学校をつくるのはどうか。大々的

	にPRすれば若い人が来て、地場産業も育つのではないか。
市民ができること	
地域活性化	・山間地の水エネルギーを利用した農業や、加工品等の6次産業化で富津市を活性化していきたい。
その他（体験談等）	
・漁師まちの金谷では、跡継ぎ問題が深刻になっており、以前に何回か合コンの企画を地元の方が主催していた。	

（3）基本的な施策の方向③ 観光の振興

基本的な施策の方向、課題（市への意見含む）	
観光地としての整備、PR不足	<ul style="list-style-type: none"> ・高宕山のハイキング客のほとんどが、道が整備されている君津市側から来ているので市内から向かう道路も整備してほしい。また、キャンプ場を通年で営業してほしい。 ・吾妻神社は、最近階段やトイレが整備され、人が集まるようになっている。歴史のある神社なので、富津の歴史に関連づけて面白いストーリーを作りPRすれば観光客も集まると思う。 ・鋸山は東京から近いので、頂上に食事ができる場所などを整備して、ロープウェイから見えるきれいな夜景をPRしてほしい。 ・駅からハイキングというJRの企画に参加したが、市とは関係ない企画でも富津市のPRに利用したら良いと思う。 ・大堀地区は観光地という実感が薄いですが、ふれあい公園には人は来ているので、千葉県民マラソンの機会を利用してもっとPRしても良いのではないかと。 ・ふれあい公園については、健康ブームもあるので、気軽に安心して走れる場所や球技などができることをPRしても良いのではないかと。 ・鋸山の富津側の登山道の近くにヒカリモの生息地があるが、鋸山でまだ宣伝されていないことをPRしてほしい。 ・千葉県民マラソンや金谷のフェリー乗り場などで、ランニングと温泉を組み合わせるPRしてはどうか。 ・金谷は温泉が有名にも関わらず、地元の人あまり利用したことが無いということを知った。かぢや旅館では日帰り入浴ができると思うが、もっとアピールした方が良さそう。 ・アニメの聖地などの資源があるかもしれない。 ・週末に郊外のセカンドハウスで過ごすスタイルとしてのクラインガルテンの場として提案してはどうか。東京から近くて気候も安定しており、魅力的だと思う。（※クラインガルテンとは、日本語では主に「市民農園」と呼ばれ、農地の借地制度のこと。）
地域・民間ができること	
イベントの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・全国で実施されているイベントを富津でもアレンジして実施できないか。 ・千葉県民マラソンは千葉県が、金谷のトレイルランは地域が主体

	<p>でやっている中で、これ以上マラソンや駅伝の周知をするといっ ても、もう1カ所どこかでやろうという感じになるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金谷では金谷ストーンコミュニティー、商工会、観光協会が連携して事業を実施している。他の地域でも1団体だけでなく、地域に根付いた団体の間で連携できたら良いと思う。
市民ができること	
空き家の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・市外から来た人だと思うが、空き家を貸別荘に改装しており、すごく流行っているようなので、空き家はもっと活用できるのではないか。
その他（体験談等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業の振興とも関連するが、富津イオンの空きテナントが増えているようなので、一時的に間借りして地元の農作物や海産物を販売してはどうか。富津イオンの方でアピールしてくれるなら、市外の人にも広まっていくのかもしれない。 ・志駒の廃校になった小学校で春と秋にイベントを実施していたようだが、地元にもよくわからなかった。さまざまなイベントを行うにも、地域に人がいないと立ち上げることができない。 ・水力発電を利用した農業や養殖を活用して、観光につなげられたら良いと思う。 	

【数値目標 働く場所の創出への満足度（市民意識調査）】

数値目標
<ul style="list-style-type: none"> ・現状を見るとなかなか数字は上がっていかないと思うが、目標値はこのままでよいのではないか。 ・平成27年度から平成30年度までが2%しか上がっていないので、現状のままであれば2%増の18%で良いのではないか。 ・具体的な大きな変化がなければ、18%から20%位。 ・現実的には18%位だと思う。希望をもって20%。